

第1回 仙台市観光戦略推進検討会議

説明資料

令和7年9月3日 仙台市文化観光局

仙台市観光戦略推進検討会議とは

設置目的

本市の観光戦略の推進に当たり、観光振興に関する専門的な見地を持つ皆様とともに、各施策の実施状況や宿泊税の使途・効果の検証を踏まえ、今後の取り組みについて検討する場(協議会等)として設置いたします。

委員構成

- ・観光振興に関し識見を有する者から構成(16名を予定)
- ・会長及び副会長各1名(会長は委員の互選、副会長は会長の指名)

検討内容

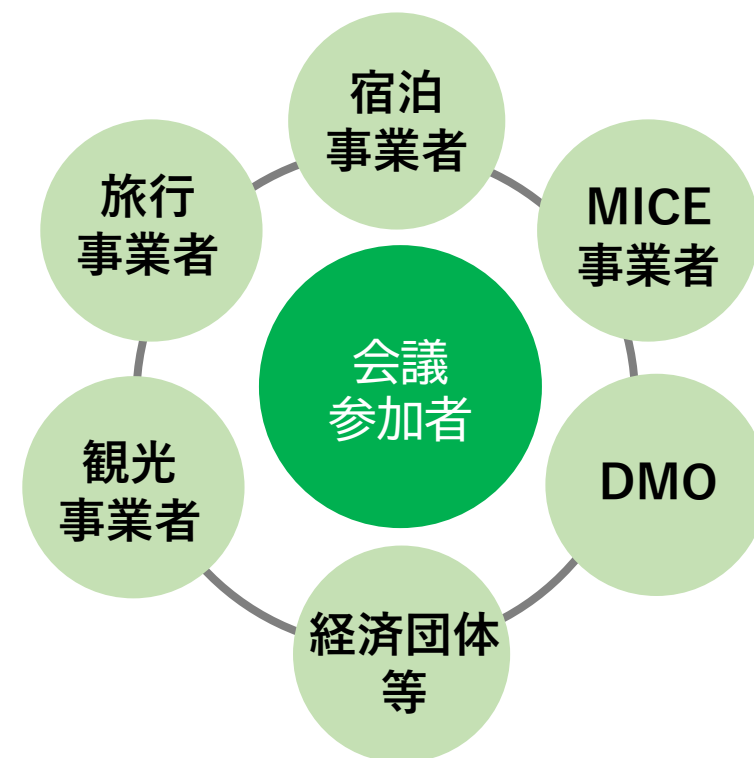
- ①観光戦略の推進に関すること
- ②宿泊税の使途及びその効果に係る検証に関すること
- ③その他必要事項に関すること

開催回数

毎年度1回程度の開催を予定(秋頃を予定)

ご意見の取り扱い

頂いたご意見につきましては、市の観光施策の取り組みへ反映してまいります。



仙台市観光戦略2027の概要

戦略期間

2025年度～2027年度(3カ年)

3つの視点

視点1

「来てもらう」

視点2

「泊まってもらう」

視点3

「また来てもらう」



旅の目的となる、際立った訴求力のあるコンテンツの創出や、仙台ならではの歴史、文化、自然といったコアとなる観光資源の磨き上げを図り、国内外から認知され、わざわざ訪れたいくなる都市を目指します。

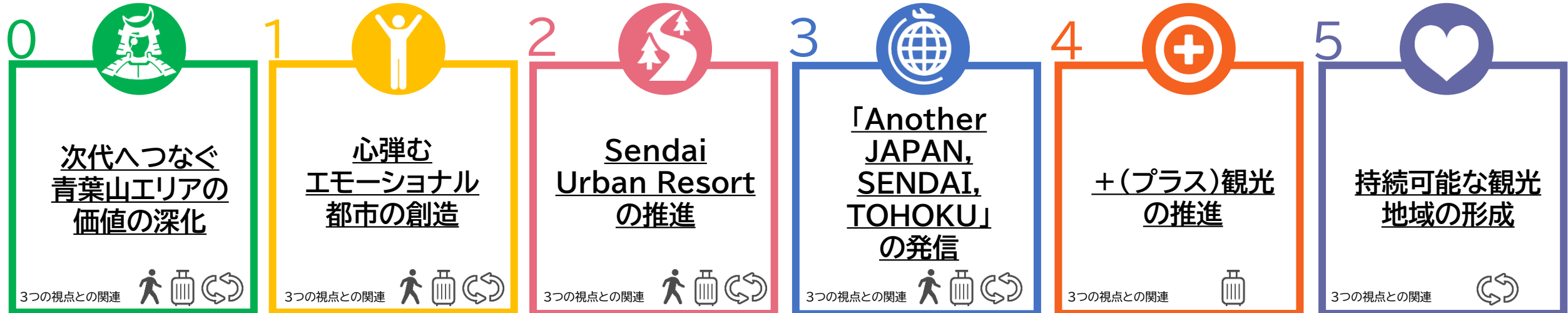
体験の価値を重視する「コト消費」や、その時、その場所でしか味わえない「トキ消費」といった消費トレンドを捉えながら、滞在促進を図ります。また、仙台をベースキャンプとした東北の周遊を推進するとともに、観光目的以外の来訪者にも、宿泊や地域での消費につながる取り組みを進めます。

性別や年代、国籍や障害の有無などを問わず楽しむことができる多様性の視点を踏まえながら、快適な受入環境を整備するとともに、地域全体でホスピタリティの向上を図り、リピーターの獲得を目指します。

6つの重点プロジェクト

3つの視点を踏まえ、宿泊税の活用も図りながら、6つの重点プロジェクトを推進します。

「次代へつなぐ青葉山エリアの価値の深化」は、本戦略期間の3カ年で完結するものではなく、伊達政宗公没後400年となる2036年をターゲットにするなど、中長期的な視点を持って施策を展開していくため、他のプロジェクトと異なる位置付けの、重点プロジェクト「0」と定めています。



仙台市観光戦略2027の概要

目標値の設定と達成に向けた考え方

達成目標

延べ宿泊者数

延べ宿泊者数

2022年

約477万人泊

2023年

約600万人泊

2027年(戦略最終年)

680万人泊

(国内610万人泊、インバウンド70万人泊)

将来に向けて

700万人泊

2027年目標

680万人泊

2024年

2025年

2026年

2027年

宿泊税を活用した主な取り組み

新たな財源である宿泊税を有効に活用し、下記のような事業を推進していくことで、仙台の新たな観光の魅力の創造と観光基盤の強化を進めます。
※本戦略の策定段階における想定であり、今後の施策の効果検証や事業者との協議などにより、適宜見直しを図っていきます。

活用の視点 1

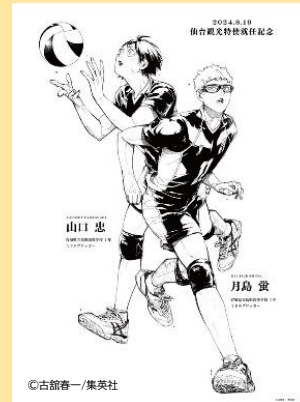
旅行者を呼び込むための観光コンテンツの造成

青葉山エリアの 新たな価値の創出



仙台城跡における新たな観光スポットの開発や、瑞鳳殿の受入環境整備等、中長期的な視点も踏まえ、仙台観光のシンボルとしての青葉山エリアの魅力づくりを進めます。

漫画・アニメを活用した コンテンツ造成・拠点づくり 大規模イベントの開催・誘致強化



仙台ゆかりの漫画・アニメが持つ魅力を活かし、わざわざ訪れたいくなるコンテンツの造成や、賑わいを生む拠点をつくるとともに、大規模イベントの誘致強化を進めます。

歴史ある温泉エリアの 面的整備



温泉エリアの自然や街並みなどの風情を楽しめる環境づくりや、自然を活かした秋保大滝展望台の整備などを行うとともに、二次交通の充実による回遊性の向上を図ることで、エリア全体の魅力を高めます。

活用の視点 2

宿泊・連泊を促進するための誘客強化

ナイトコンテンツの ロングラン



中心部の新たな冬のイルミネーションイベントを開催するとともに、青葉山エリアのナイトコンテンツの長期開催・常設化に向けた支援を行います。

インバウンドの 誘客強化

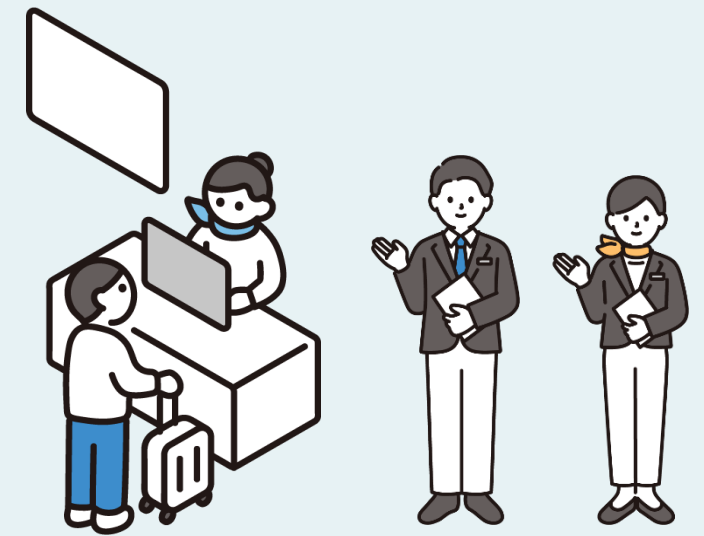


欧米豪・韓国・香港など、新たな市場も含めた戦略的なプロモーションを行い、仙台・東北を訪れる外国人観光客の増大を図ります。

活用の視点 3

観光の基盤である宿泊事業者への支援

人材確保・DX等の 総合的な支援



採用活動をはじめとする人材確保や、DXの導入による業務効率化、災害対策など、経営基盤の安定化に向けた総合的な支援を行います。

青葉山エリアにおけるシャトルバス特別運行

重点 0

- ▶GW期間(4/26-5/6)において、市道仙台城跡線でシャトルバスの特別運行を実施
(11日間で延べ約24,000人の方が利用)
- ▶七夕まつり期間(8/6~8/8)に、るーぷる仙台特別運行及び七夕ナイトフェス会場をつなぐシャトルバス運行を実施



「仙台観光特使」の取り組み

重点 1

- 2023年8月19日 ハイキュー!!の日向翔陽さんと影山飛雄さんに委嘱、仙台市体育館にモニュメント設置
- 2024年8月19日 同じく月島蛍、山口忠さんに委嘱、仙台市博物館にモニュメント設置
- 2025年4月30日 富沢駅から仙台市体育館までの動線にデザインマンホールを設置
- 2025年8月19日 及川徹、岩泉一さんに委嘱、青葉体育館にモニュメント設置



【デザインマンホール】

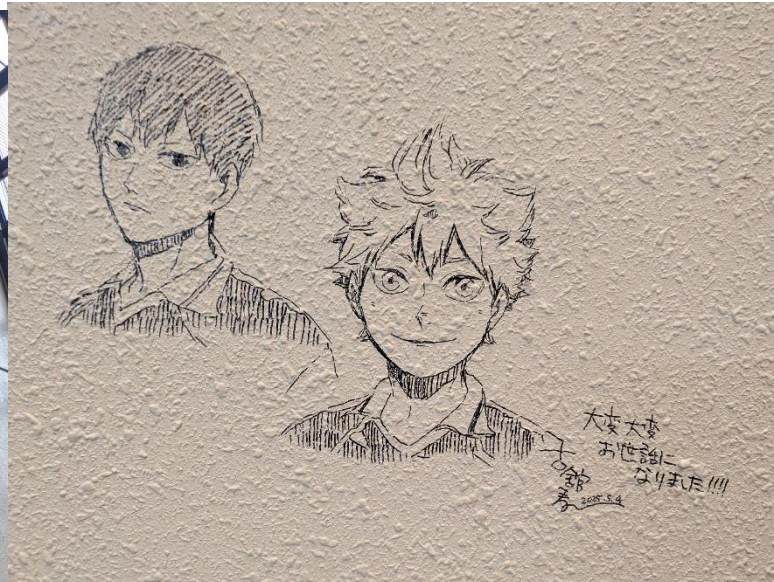
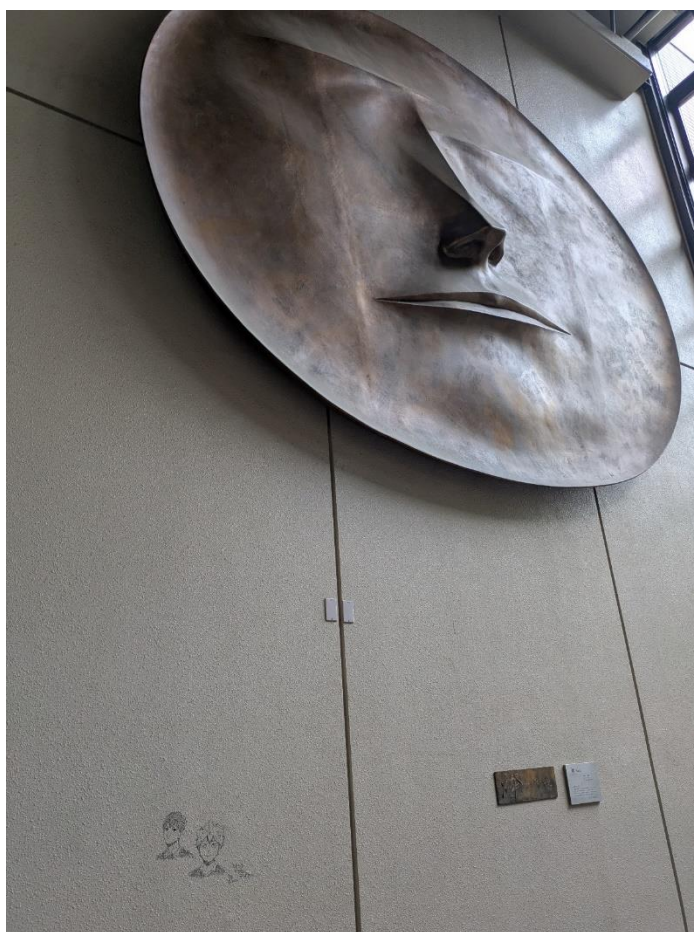


【グッズ（タオル）販売】

「ありがとう！！仙台市体育館」イベントの開催

重点 1

- ▶ 仙台市体育館の休館(大規模改修)に伴い開催。2日間で約10,000人が来場
- ▶ 特大フラッグを設置し、訪れた方多くの方に仙台市体育館へのメッセージを記入いただくイベントを開催
 - 関係者のご協力のもと、体育館の様々な場所に原作者直筆のイラストを披露
- ▶ イベントの様子は、「ジャンプチャンネル」や「ハイキュー!!magazine2025AUGUST」で発信



ナイトコンテンツ創出促進

重点 0

重点 1

- ▶ 宿泊した翌朝や、チェックイン・アウトの時間を意識した体験やイベント等、宿泊促進・滞在時間延長につながるコンテンツの創出を補助(1件最大1,000千円)
- ▶ 青葉山エリアにおけるナイトイベントについて、長期開催に向けた支援を行うことで、観光客の認知度や満足度の向上を図る(9月6日より週末に定期開催)
- ▶ 閑散期の冬には、長期間イルミネーションイベントを開催予定



大型イベントの開催誘致

重点 1

- ▶ 11/1、2に七北田公園において、「ドラゴンクエストウォーク<東北>」が初開催
- ▶ 10/31から11/3まで各商店振興組合と連携し「ドラクエウォーク秋祭り」を実施し、市内の周遊促進を図る
- ▶ イベント参加者2万人以上を想定



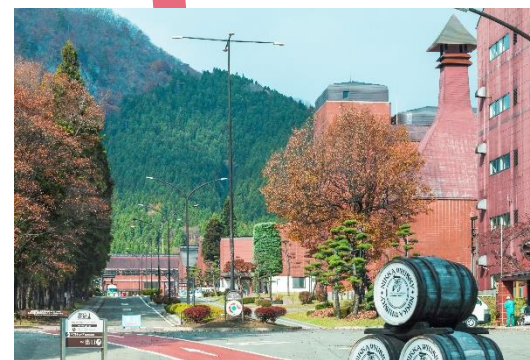
西部エリアにおける受入環境整備

重点 2

- ▶秋保大滝周辺エリアの整備基本計画の策定や大滝展望台等の総合設計、賑わい創出に向けた実証事業を実施
- ▶滞在時間延長や魅力向上を図るため、作並温泉、ニッカ、定義などを周遊する観光バスの実証運行を実施



【作並温泉】



【ニッカウヰスキー工場】



【定義如来西方寺】

東部エリアにおける受入環境整備 **重点 2**

- ▶ 東部海浜エリアの観光スポットや震災遺構などを巡る「せんだい海手線ループバス」を7/1～2/28の期間運行し、賑わい創出及び周遊促進
- ▶ 仙台市唯一の海水浴場である深沼海水浴場について、入場制限を行わない形で本格的に開設
- ▶ 海手ネットワークによる、年間を通じたスタンプラリーの実施



くらしに+
せんだい海手リゾート

インバウンド増に向けた取り組み①

重点 3

- ▶ 長期滞在者が多く、消費額が高い欧州市場からの誘客プロモーションを実施
- ▶ タイで実施されたジャパンディスカバリー(観光、物産イベント)へ出展した他、現地で市主催の商談会を実施
- ▶ 香港貿易発展局主催「香港ブックフェア」のジャパンパビリオンに初出展



インバウンド増に向けた取り組み② 重点 3

- ▶ 東北大学等の留学生を対象としたモニターツアーを実施し、SNS等を通して家族・友人・知人の誘客促進
- ▶ 来年1月から3月にかけて、OTAを活用したインバウンド向け宿泊促進キャンペーンを実施予定



宮城・仙台の魅力をSNSで発信!
モニターツアー
参加者募集

7月30日(水) 8:30~17:30 JR仙台駅発着 日帰り

※詳細は裏面をご覧ください。
仙台・泉ヶ岳や宮城蔵王をはじめとする主要観光地や、美しい自然、豊かな文化・食を体験する絶好のチャンスが到来しました!

- 参加無料** **事前申込制** **定員35名(抽選)**
- 宮城の絶景ポイントとして有名な蔵王の御釜や、仙台・泉ヶ岳でのジップラインアドベンチャーの他、仙台名物の“ずんだ餅”づくり・食品サンプルづくりなど、思い出に残る体験があなたを待っています。
さらにツアーであなたが感じた宮城・仙台の魅力を、自身のSNSを活用して投稿! 楽しみながら発信できるこの機会に、ぜひご参加ください!
- 対象者** 仙台市内の大学等に在籍する留学生
- 参加要件**
 - ツアー終了後、自身のSNSでツアーの内容を投稿できる方
 - アンケートにご協力いただける方
- 申込方法** 裏側に記載 **申込締切** 7/17(木)

インバウンド向け宿泊促進キャンペーン

【割引相当額】

- ・宿泊者1名の1泊当たり税込み宿泊代金の**50%**とし、割引額は宿泊客1名の1泊当たり税込み**20,000円**を上限とします。
- ・同一宿泊者が同一の宿泊客が連続して宿泊する場合、1名当たり**3泊**までが対象となります。
※予約者が複数操作にて3泊を越える予約がされた場合は事務局までご連絡ください。
- ・宿泊客1名の1泊当たり宿泊代金が税込み**6,600円未満**(素泊まり)の場合は、対象外となります。



【割引例】

宿泊代金が1人税込6,600円(素泊まり)の場合 税込6,600円未満(素泊まり)の場合は対象外 ↓ 当事業割引対象外 ↓ 割引額 宿泊代金 6,600円 - 0円 = 6,600円	宿泊代金が1人税込10,000円の場合 宿泊代金の 50% の割引 ↓ 10,000円 X 50% = 5,000円 ↓ 割引額 割引後宿泊代金 10,000円 - 5,000円 = 5,000円	宿泊代金が1人税込50,000円の場合 宿泊代金の 50% の割引 割引上限が1人 20,000円 ↓ 50,000円 x 50% = 25,000円 ※割引額の上限が20,000円となることから ↓ 割引額 割引後宿泊代金 50,000円 - 20,000円 = 30,000円
---	--	---

大阪・関西万博を契機にした東北の魅力発信

重点 3

- ▶大阪万博への「東北絆まつり」の出展を通じて仙台・東北の多彩な魅力をPRし、東北ブランドの強化と誘客を促進
- ▶インバウンドを始めとした大阪・関西万博を訪れた旅行者に対し仙台・東北の魅力を発信することで誘客につなげるため、大阪梅田にてPRイベントを実施(PRイベント来場者数 約1万人)



仙台を拠点とした東北日帰り観光の推進

重点 3

- ▶ 自動車を使った仙台発の東北日帰り観光を促進するため、仙台を発着地としたドライブモデルコースを発信するとともに、特別レンタカープランを造成、販売
- ▶ 若年層をターゲットとして、有名モデルを起用した仙台を宿泊地とした観光モデルコースをプロモーションし、市内への宿泊を促進
- ▶ 仙台都市圏の周遊を促すため、観光情報サイト「moreTOHOKU」内に特設ページ「aroundSENDAI」を作成した他、JAFと連携して仙台都市圏14市町村対象のドライブスタンプラリーを開催



青葉山エリアの特性を活かしたMICE開催 宿泊促進キャンペーンの実施

重点 4

重点 4

- 豊かな自然に囲まれ、多くの文化施設等が集積する青葉山エリアの特性を活かしたMICE開催を支援
- 4/8～4/12に第125回日本外科学会定期学術集会を実施(12,000人規模)
- 「仙台トク旅キャンペーン」を実施し、閑散期となりがちな夏休み前までの宿泊を促進(延約36,000人利用)




青葉山エリアを一体活用したMICE開催のイメージ



宿泊事業者向け補助金の創設

重点 5

- ▶ 宿泊事業者向けの支援策について補助メニュー及び補助金額を拡充して新たに実施
- ※ 観光振興協力金の交付は、2026年度より実施予定

 仙台市 宿泊事業者総合支援補助金	
対象者	仙台市内で旅館業法上のホテル、旅館を営む事業者、個人等 <small>※市税を滞納している事業者、暴力団との関係を有している事業者、宗教活動や政治活動を目的とした事業者を除く。</small>
補助メニュー 対象経費概要 <small>詳細は裏面参照</small>	(1)採用活動支援 (2)外国人材雇用支援 (3)DX支援 【新規】 (4)災害対策・危機管理支援 【新規】 (5)ユニバーサルツーリズム促進 【新規】
補助額	補助率：補助対象経費の2分の1 上限額：1事業者あたり 50万円 【増額】

これまでの補助事例

① 特定技能外国人労働者の雇用

特定技能外国人労働者の人材紹介の他、在留手続き、空港から勤務地までの初日の移動など、就労開始までに必要な事項に関する、支援会社への代行委託費用。

② 災害用備品の購入

災害対策として、備蓄用の寝具や非常食の他、電源確保目的のポータブル電源などの購入費用。

③ インバウンド用パンフレット・WEBサイトの作成

施設近隣の飲食店や施設を紹介する多言語のガイドブックや多言語WEBコンテンツの作成費用。

④ スマホセルフオーダーシステムの導入

食事会場で利用者のスマートフォンで飲み物などを注文できるシステムの導入費用。

(参考) 宿泊事業者連携会議について

設置目的

新たな財源である宿泊税を効果的に活用するため、宿泊事業者の皆様とともに使途の検証や今後の活用について意見交換を行う場として設置いたします。

委員構成

- ・各宿泊事業者から推薦いただいた代表者の方で構成
- ・委員数は、各団体への加入事業者数に応じて調整

意見交換内容

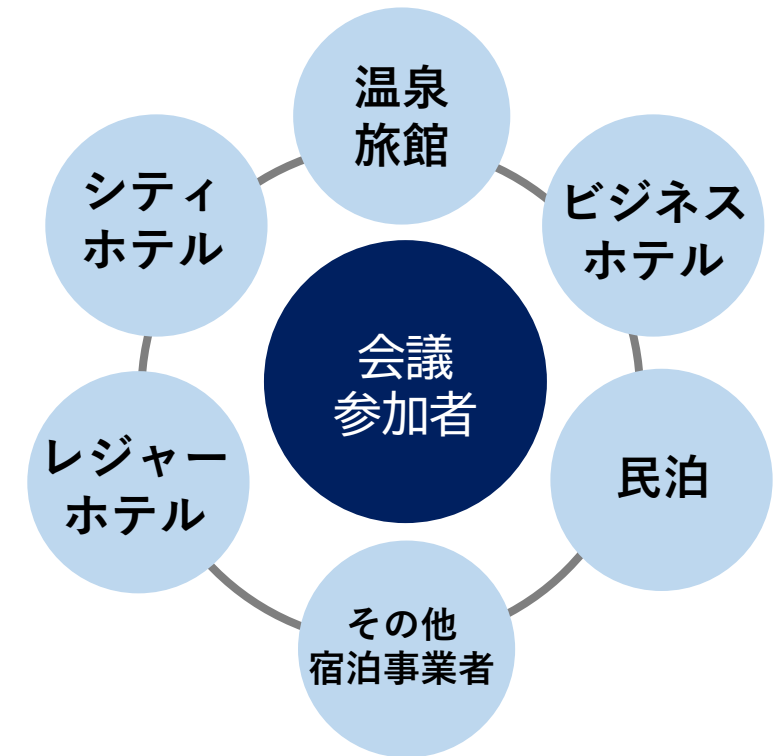
- ① 宿泊税の使途について
- ② 今後の活用に向けて
- ③ 課税開始に向けた取り組みについて

開催回数

毎年度2, 3回程度の開催を予定(次回開催は令和7年11月を予定)

ご意見の取り扱い

頂いたご意見につきましては、宿泊税活用にかかる市の観光施策の取り組みへ反映してまいります。



(参考)仙台市宿泊事業者会議連携会議でいただいたご意見

令和7年8月29日に実施した上記会議において、宿泊事業者の皆様より以下の意見をいただいております

【インバウンド】

- ・これまで訪れたことのない都市として、仙台が選ばれるよう宿泊税を活用していくことが重要。
- ・光のページェントや七夕花火祭はインバウンドに知られていない。英語での発信強化が必要である。
- ・インバウンドが周遊するための英語表記を取り入れた案内が少ない。
- ・インバウンドは山寺、銀山温泉、秋保・作並等を連泊しながら巡る。仙台を基点に他県を巡ることを、我々よりも容易なものと捉えており、夜は仙台に帰ってきて楽しんでいる人もいる。
- ・インバウンドはGoogleのレビューを見る機会が多い。

【閑散期対策】

- ・市内中心部は冬場に集客が落ち込み、回復まで半年程度かかる。落ち込むところをなくして安定させたい。
- ・七夕の時は観光客が集まるが、通年観光するものがない。様々なイベントを作ってもらい、連続して人が集まる仕組みが必要。
- ・定禅寺ストリートジャズフェスティバルがあるが、通年で音楽を楽しむという環境が根付いていない。ルールを守ることを前提に、街中で自由に音楽の発信ができるようになる等、賑わいを作ってほしい。

【コンテンツ】

- ・中心部エリアの宿泊者は、1泊で仙台を離れる方が多いので、ナイトコンテンツは重要である。
- ・ナイトコンテンツは素晴らしいと思うがイベント自体が知られていないと感じる。まず市民に体験してもらい、広めてもらうことが大切である。
- ・秋保大滝や二口の整備等を行い、東北の他の温泉街にも負けない温泉街にしていきたい。
- ・宿泊施設が体験型コンテンツを組み合わせられる仕組みを作ってほしい。

(参考)仙台市宿泊事業者会議連携会議でいただいたご意見

令和7年8月29日に実施した上記会議において、宿泊事業者の皆様より以下の意見をいただいております

【二次交通】

- ・ 定禅寺通り等は地元の人なら仙台駅から歩けるが、地の利がない観光客はよく分からない。公共交通機関の優待とナイトコンテンツを組み合わせる仕組みがあると良い。
- ・ 市でイベントを実施しても秋保・作並に泊まりに来ることはほぼない。空港からのアクセスも以前はライナーがあったが、現在は無くなっている。
- ・ 作並地区で今年度実施される実証運行を検証して、二次交通の拡充を図れると良い。
- ・ 二次交通はそれぞれのエリアで独立したものでなく、昼間に温泉に行き、夜は街で楽しめるような仕組みが必要である。
- ・ 青葉山エリアのイベント時等、ロープウェイや電動の乗り物といった、未来都市をアピールできるような先進的なことに取り組んでもらいたい。
- ・ 仙台市内外の各スポットを巡るスタンプラリーがあると良い。

【その他】

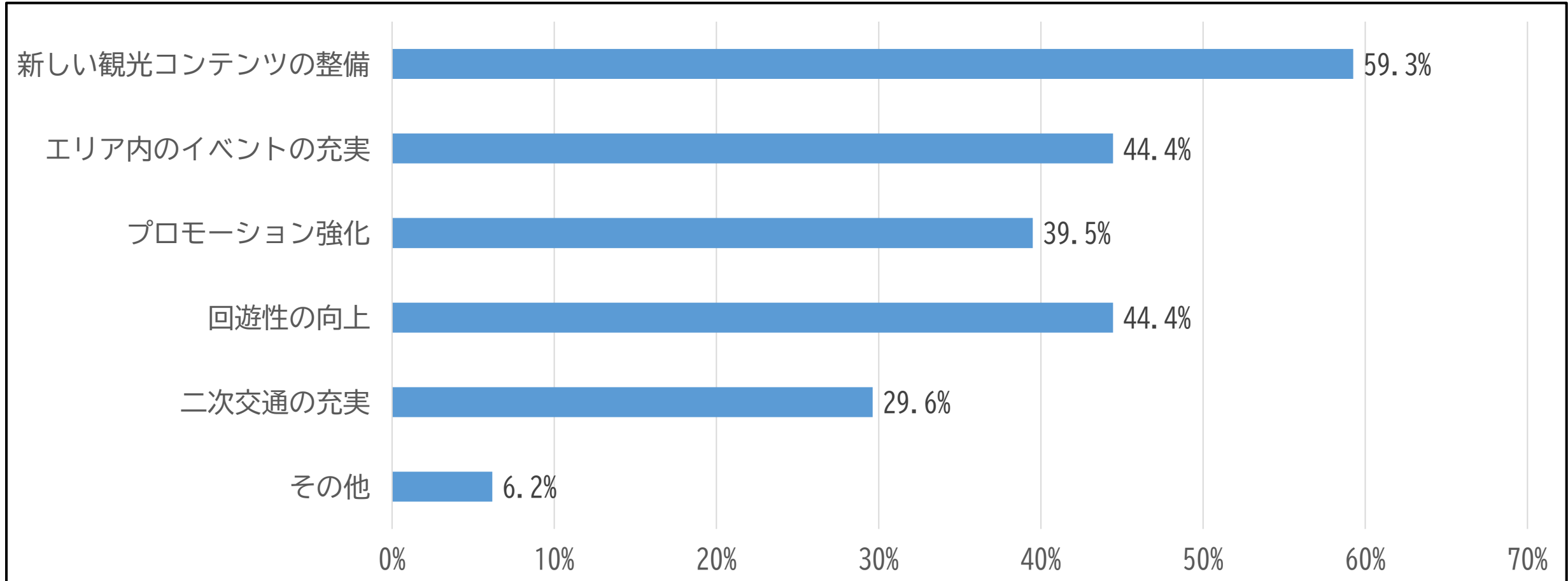
- ・ 中心部、西部、東部それぞれ課題があり、課題を明確化することが大切
- ・ 作並、秋保は自然が豊かだが活用できていないので、お客様に喜んでもらえるようにしたい。
- ・ ラサンの活用方法を地元と協議しているが、宿泊税も活用して観光振興ができると良い。
- ・ オーバーツーリズム対策等、市民に迷惑がかからないよう、市民の意見を聞くことも大切である。
- ・ 牛タン、ずんだ以外の食の磨き上げが大切である。

(参考)市内宿泊事業者へのアンケート結果

令和7年7月に市内の全宿泊事業者の皆様へ、宿泊税の活用が望ましい取り組みについてお伺いしました。
(回答総数:81事業者)

1. 各分野において、より一層の充実を望む観光施策を選択してください(複数回答可)。

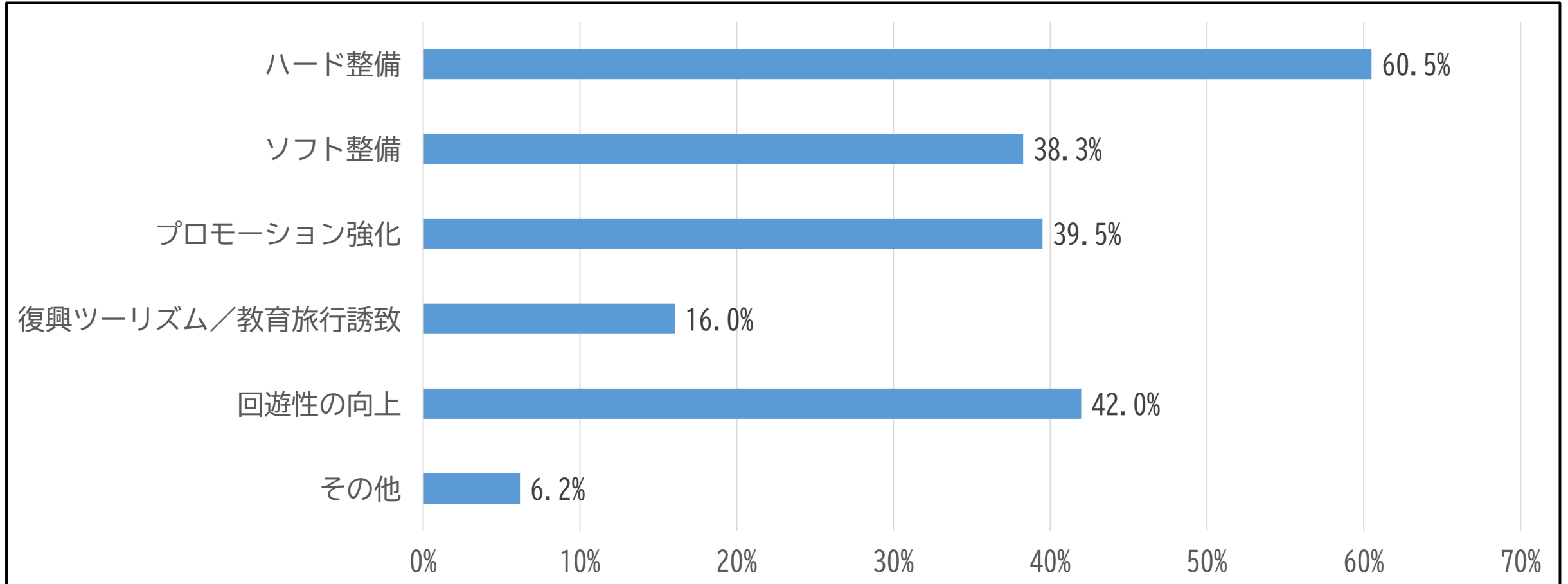
①中心部エリアの魅力向上



(参考)市内宿泊事業者へのアンケート結果

令和7年7月に市内の全宿泊事業者の皆様へ、宿泊税の活用が望ましい取り組みについてお伺いしました。
(回答総数:81事業者)

1. 各分野において、より一層の充実を望む観光施策を選択してください(複数回答可)。
②郊外エリアの魅力向上(秋保、作並、定義、泉西部地域、東部地域)

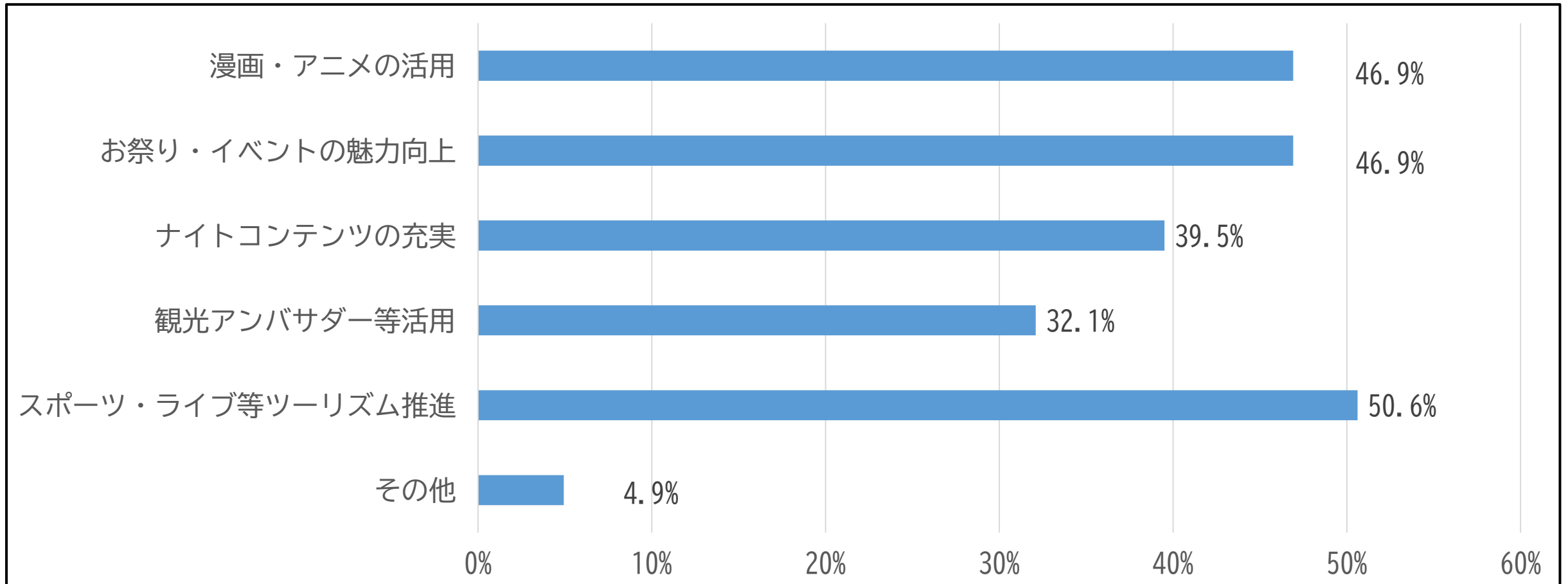


(参考)市内宿泊事業者へのアンケート結果

令和7年7月に市内の全宿泊事業者の皆様へ、宿泊税の活用が望ましい取り組みについてお伺いしました。
(回答総数:81事業者)

1. 各分野において、より一層の充実を望む観光施策を選択してください(複数回答可)。

③エンターテインメントの活用

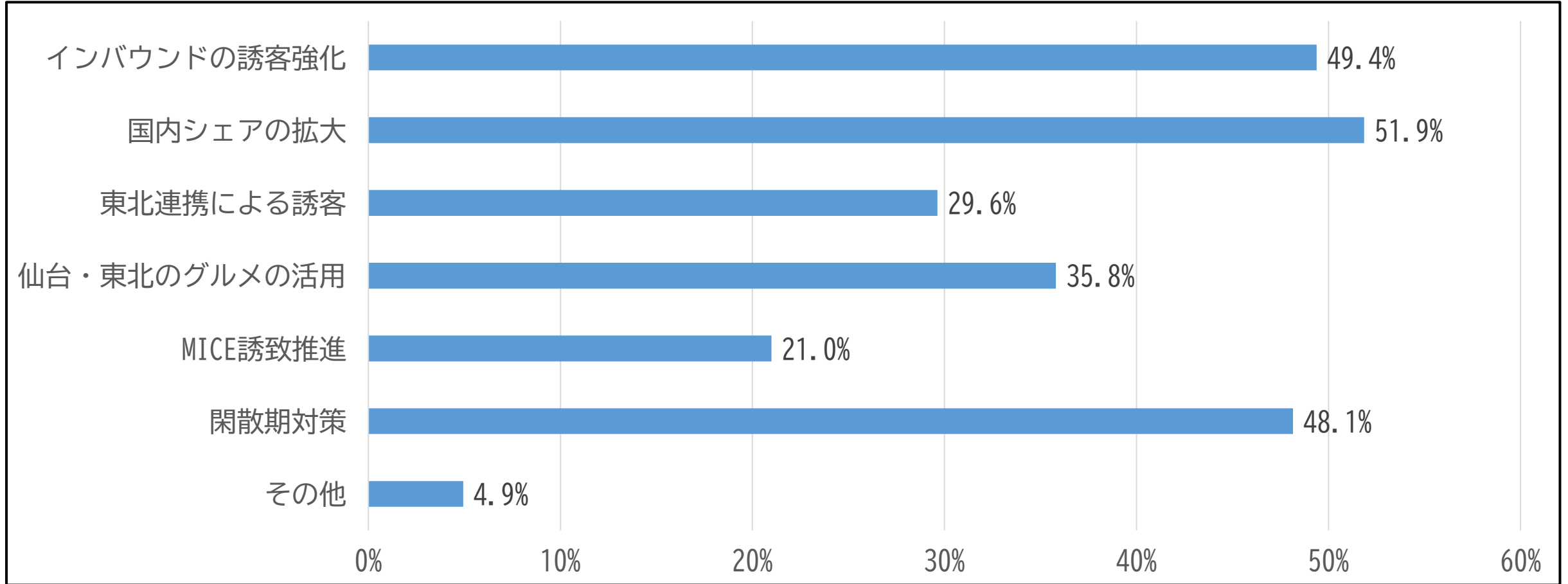


(参考)市内宿泊事業者へのアンケート結果

令和7年7月に市内の全宿泊事業者の皆様へ、宿泊税の活用が望ましい取り組みについてお伺いしました。
(回答総数:81事業者)

1. 各分野において、より一層の充実を望む観光施策を選択してください(複数回答可)。

④国内外からの誘客強化

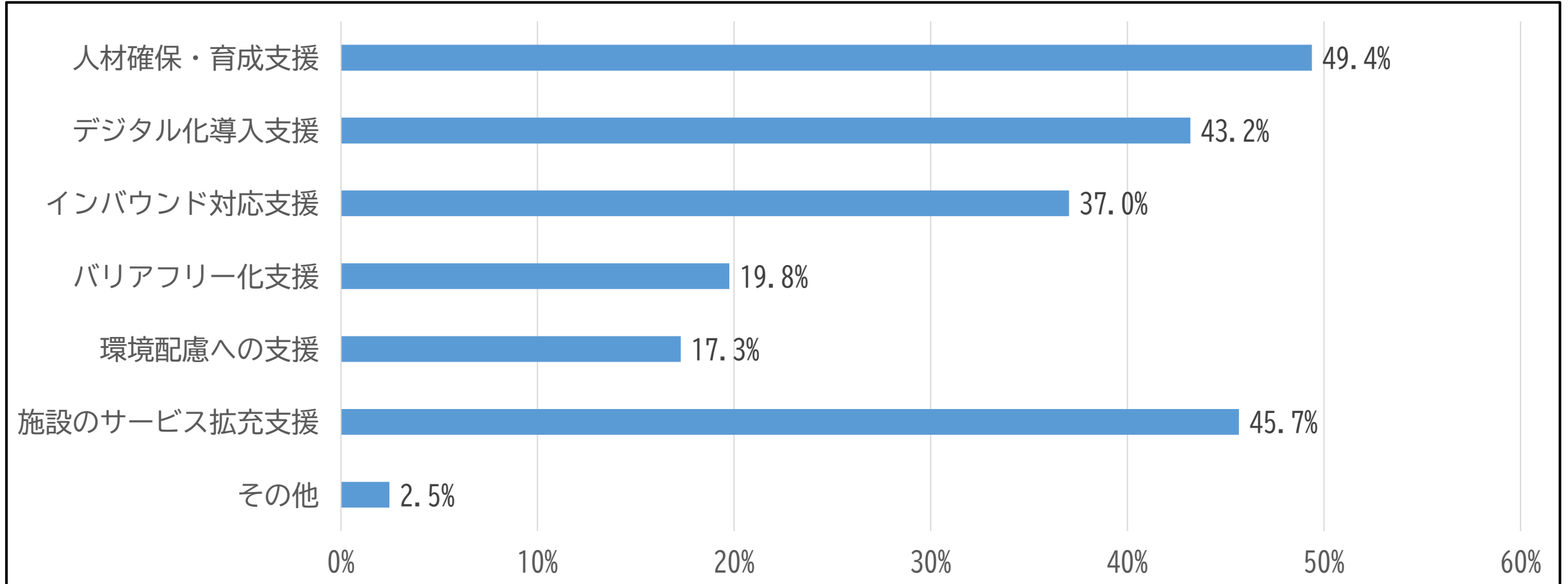


(参考)市内宿泊事業者へのアンケート結果

令和7年7月に市内の全宿泊事業者の皆様へ、宿泊税の活用が望ましい取り組みについてお伺いしました。
(回答総数:81事業者)

1. 各分野において、より一層の充実を望む観光施策を選択してください(複数回答可)。

⑤宿泊事業者支援



(参考)市内宿泊事業者へのアンケート結果

2. 自由意見（その他として回答のあった意見、①～⑤の分野以外で特に充実を望む観光施策）。

【観光資源・コンテンツ開発】

- ・現存の仙台を代表するお祭り・イベントはもちろんの事、スポーツ・ライブ等のツーリズム推進をする為の恒常化出来るアニメ等の訴求力を有する（アンバサダー含め）観光資源の活用を考えてほしいです。
- ・七夕の日付を8月の第一金土日などに変更してみてもどうでしょうか。
- ・ホテルでの料理体験など、体験型コンテンツとの連携ができれば滞在促進につながると思います。
- ・食文化など地元の魅力を再発見することが必要と考えます。
- ・医療ツーリズムやリトリート研修といった、特色ある観光形態があると良い。
- ・地元の文化、ニッカウヰスキーの魅力向上につながる取組みをお願いしたいです。
- ・仙台限定の商品開発のコラボをしてほしい。
- ・青葉城の建設を希望します。
- ・新しく人を呼べるシンボリック、テーマパーク的なものを作る必要がある。
- ・単発イベントではなく恒常的な集客施設があるといいです。
- ・ストリートピアノの設置は誘客強化につながると思う。

【情報発信・プロモーション】

- ・多様なメディアを活用したメディア戦略と情報発信が重要です。
- ・国際会議の誘致などがあれば、インバウンド促進が期待できる。
- ・あらたな観光資源開発には莫大な資金が必要。施設の多言語化などは企業努力で実施すべきであり、徴収された税は既存イベントの県内外へのプロモーションへの投資を強化すべきです。
- ・中心部、郊外どちらかではなく、両方のエリアの観光と宿泊に繋がる計画やプロモーションが必要です。

※ご意見は文意を損なわない範囲で抜粋・編集しています

(参考)市内宿泊事業者へのアンケート結果

2. 自由意見（その他として回答のあった意見、①～⑤の分野以外で特に充実を望む観光施策）。

【受入環境整備】

- ・ 外国語のパンフレット等を充実してほしいです。
- ・ 観光地にきて海外からのお客様がわかるような、案内やコンテンツの説明等の整備を検討してほしいです。
- ・ 仙台市街、駅周辺など以外でもタクシーを呼びやすく、使いやすくする環境整備が重要です。
- ・ 公共トイレの整備、設備の充実は受入環境の整備として重要と思います。
- ・ 清掃、山林の手入れすることで、エリアの魅力が向上すると考えます。
- ・ ゴミ箱の設置と綺麗な街づくりについてご検討頂ければ幸いです。

【宿泊事業者支援】

- ・ 旅館組合や施設単独での対応には資金、人材にも限りあり、秋保温泉地区の観光環境整備の充実を希望します。
- ・ 小規模宿泊事業者への支援をお願いします。
- ・ 震災、社会不安などで帰国ができないというような場合に、宿泊施設を安心して利用できるような準備ができるようにしたいです。
- ・ 施策に伴い発生する事務作業について、施設側で手間、人手のかからない仕組みとするべきです。
- ・ 今後の宿泊業界や県・市との連携等、未来に向けて話すべき内容や課題が多くあります。
- ・ 宿泊事業者と打ち合わせの時間を取っていただく事が肝要です。

※ご意見は文意を損なわない範囲で抜粋・編集しています

(参考)課税開始に向けた取り組みについて

課税開始に向け、宮城県と連携して以下の取り組みを実施予定です。
記載の取り組みに限らず、機会を捉えた周知を実施してまいります。

ターゲット	手法	R 7										R 8		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
市民	広報ツールの配布		リーフレット ポスター発送	<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <配布先> 宿泊施設、観光案内所、 市内観光施設 市政情報センター 等 </div>							三角ポップ 送付	<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <配布先> 宿泊施設、観光案内所等 </div>		
旅行者		交通広告						<div style="background-color: #4b7c3d; color: white; padding: 2px 5px;">県内</div>	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 仙台市地下鉄南北線・東西線 全車両ドアステッカー掲示【R7.6~R8.3】 </div> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> JR仙台駅（新幹線改札、杜のビジョン） 県内主要駅、仙台空港掲示【R7.7~R8.3】 </div> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 東京駅新幹線乗換口掲示【R7.10~R8.3】 </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #c0504d; color: white; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">県外</div> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px;"> 県外空港・JR駅掲示【R7.10~R8.3】 </div> </div>					
事業者	通知発送 個別訪問 相談対応	課税開始 時期通知 発送	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社・OTA等訪問 ・教育関係周知 ・相談会実施 	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px;">個別相談対応</div>										
	レジシステム改修補助	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px;">申請受付</div>												
	コールセンター	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px;">開設</div>												
	手引き QA配布	随時発送のほか市HPで公開 https://www.city.sendai.jp/shoze/syukuhakuzei/syukuhakuzei.html												